

第32章 地域編⑧：スラウェシ、マルク・パプア

1. 地域概要

(1) 概要

①インドネシア国内における経済的地位

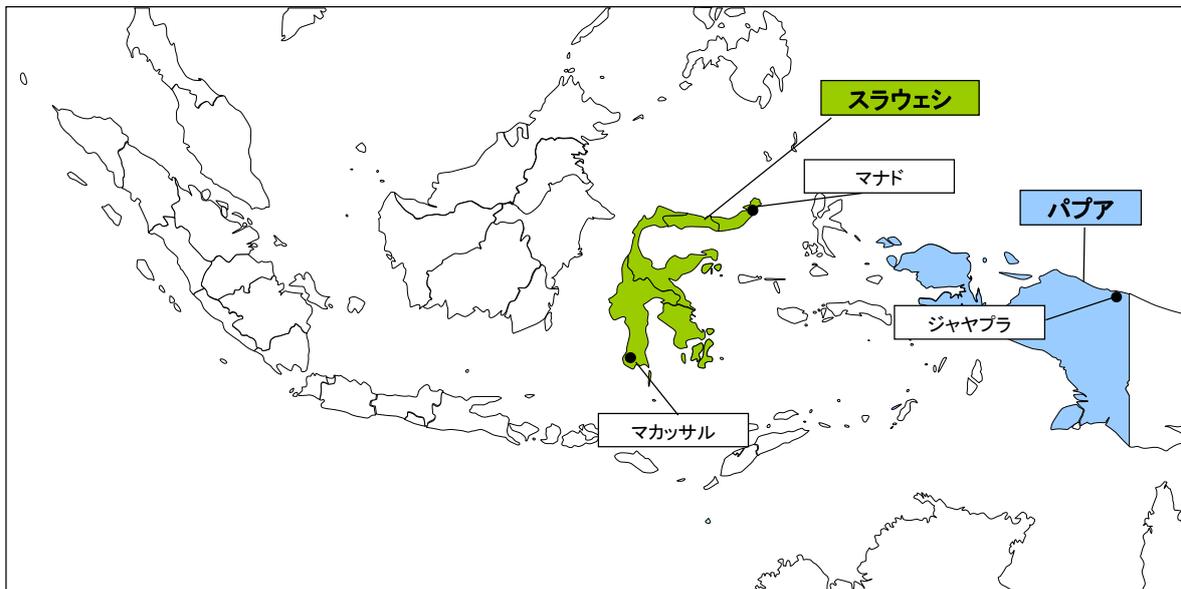
スラウェシは、インドネシアの中部に位置する島の1つで、「蘭の花」とも称される独特の形状を持つ。面積は約19万km²と日本の半分程度で、インドネシアの国土面積の9.9%を占める。西にマカッサル海峡を挟んでボルネオ島、東にモルッカ海を挟んでマルク諸島、南にフローレス海を挟んで小スンダ列島、北にセレベス海を挟んでフィリピンと接している。香辛料などの交易の中心地であったスラウェシ島は、17世紀以降海洋進出を果たしたオランダの支配下に置かれたため、現在でもプロテスタントの信者が多い（図表 32-1）。

スラウェシは、行政上は6州（北スラウェシ州、中部スラウェシ州、南スラウェシ州、南東スラウェシ州、ゴロンタロ州、西スラウェシ州）からなり、南スラウェシ州都のマカッサルが地域の中心都市である。主要産業は農林水産業である。特に農業、水産業の比率が高い。北スラウェシ州はトウモロコシ、玉ねぎ、ジャガイモ、香辛料の一種であるクローブなどの一大産地で、南スラウェシ州ではカカオのプランテーション栽培、マグロ・エビ・カツオなどの水産業が盛んである。

2022年に新たな州が誕生し、インドネシア東端のマルク・パプア地域は、行政上は8州（マルク：マルク州、北マルク州、パプア：西パプア州、パプア州、南パプア州、中部パプア州、山岳パプア州、南西パプア州）から構成される。

地域別では最大の49.5万km²の面積を持ち、インドネシアの国土面積の25.9%を占める。地域の中心地はパプアニューギニアに近いパプア州都のジャヤプラである（図表 32-1）。土地の多くがジャングルで覆われているため、産業開発が全般的に遅れているが、特に豊富に存在する天然ガス、銅、金などの採掘や炭・石油・ガス精製業が盛んである。

図表 32-1 スラウェシ、マルク・パプアの位置



(出所) 白地図専門店 (三角形) より作成

これらの特徴から、スラウェシでは農業や水産業、マルク・パプアではカリマンタン同様に天然資源開発を目的とした事業展開に、一定のメリットがあると考えられる。他方、1人あたり GDP が両地域とも全国平均に比べて 1~2 割程度低く、人口密度の低さやインフラの未整備と相まって、消費市場としての魅力は相対的に乏しい。

②工業団地・日系企業進出動向

2011 年の外国直接投資 (FDI) の受入総額 (実行ベース) はスラウェシ地域が 31.4 億ドルであり、マルク・パプア地域が 23.6 億ドルであり、それぞれインドネシア全体の外国直接投資額の 10.4%、7.9%を占めている。スラウェシ地域の中では、南東スラウェシ州 (6.7 億ドル) と中部スラウェシ (6.7 億ドル) がほぼ同額の外国直接投資を受け入れ、更に南スラウェシ (6.2 億ドル) が続いている。これら 3 州で全体の 8 割超を占めている。また、マルク・パプア地域ではパプア州への外国直接投資が多く、パプア州は地域全体の 63.3%に相当する 11.3 億ドルの投資を受け入れている。

これらの地域に対する日本企業の進出は少ない。外務省の在留邦人統計 (2021 10 月 1 日時点) によると、スラウェシ、マルク・パプア両地域 (在マカッサル領事事務所管轄地域) に進出する日本企業数は合計 14 社に過ぎず、インドネシアに進出している日本企業全体 (2,046 社) の 1%にも満たない。進出企業として、南スラウェシ州マカッサルに進出し、仏壇の製造を行っている丸喜株式会社などが挙げられる。また最近の進出事例として、2017 年 2 月の三菱自動車と三菱ふそうトラック・バスによるマカッサルへの販売代理店の進出などが挙げられる。

国際機関日本アセアンセンターによると、現在、スラウェシ地域には 6 カ所、マルク・パプア地域には 1 カ所の工業団地がある。また、北スラウェシ州都であるマナドの近くでは Bitung SEZ が、中部スラウェシの州都パルでは Palu SEZ が稼働している。

(2) 進出日系企業から見た事業・生活環境やコスト

スラウェシ、マルク・パプアに係るインフラ・物流、労働事情、生活環境、その他については以下の通りである。

①インフラ・物流

【空港】

主要空港はマカッサルのスルタン・ハサヌディン国際空港（マレーシアなどへ就航）、マナドのサム・ラトゥランギ国際空港（シンガポールなどへ就航）、ジャヤプラのセンタニ空港（国内線のみ）である。スルタン・ハサヌディン国際空港については、2025年までに第3滑走路と第2ターミナルを整備する拡張計画が立てられている。

【港湾】

スラウェシ地域のマカッサルはスカルノ・ハッタ港、同じくマナドはビタン港とそれぞれ近接しており、国際物流の拠点として重要な位置を占める。スカルノ・ハッタ港では2014年の自動車専用ターミナルの設置や2016年の港湾業務管理システムの導入など、拡張と改良が行われている。

【電力】

インドネシア電力公社（PLN）の「PLN STATISTICS 2018」によると、2018年の州別の電化率は、北スラウェシが97.29%、南スラウェシが99.46%、西パプアは100%となっている。

②労働事情

【人材】

スラウェシ地域の人口は1,989万人（同国全体の7.4%）である。2022年8月時点の失業率は、最も高い北スラウェシが6.61%となっており、全国平均（5.86%）を上回っている以外は、2~5%台と比較的低い。マルク・パプア地域の人口は856万人（同国全体の3.2%）であり、人口の半分近くを占め、GDPの面でも中心であるパプア州の失業率は2.83%で全国平均よりも低い水準となっている。同地域では人口の母数が比較的小さいため、いずれの地域でも労働力の確保が難しい可能性がある。

【賃金】

2022年の最低賃金では、スラウェシ地域の中で北スラウェシ州が最も高く331万ルピア、次いで南スラウェシ州（317万ルピア）が高い。マルク・パプア地域ではパプア州（356万ルピア）と西パプア州（320万ルピア）が高い。

③生活環境

【一般】

マカッサルは全体的に都市化が進んでおり、ショッピングモールも複数存在し、ユニクロも進出している。また、高速道路の料金支払や社会保障の給付が電子化されたことなどから、マカッサルでは現金以外での決済の普及も進んでいる模様である。2019年10月には、日本工営がマカッサルとの間でスマートシティ開発に関する覚書を交わし、交通分野や遠隔医療をはじめ、公共サービス向上に向けた協力を行っている。交通渋滞緩和に向けてビッグデータを活用する実証実験やその事業化などが進められている。一方で、インドネシア都市計画協会（IAP）が2017年に実施した主要26都市の住みやすさに関する調査では、マカッサルは最下位（26位）で、満足度は55.7%であった。なお、1位は中部ジャワ州のスラカルタ（ソロ）で、満足度は66.9%である。

【食事】

日本食を提供できるレストランは多くはないが、うどんチェーンの「丸亀製麺」は、マカッサルに進出している。また、和食レストランとして、「Koi Japanese Restaurant」、「Sushi Tei」、「Shogun Restaurant」などの人気が高い模様である。

【教育】

いずれの地域にも日本人学校はなく、外国人の子弟向けにマナドの Manado Independent School やマカッサルの Makassar International School などが開校している。

【住居】

マカッサルやマナドではサービスアパートがいくつか利用可能であり、ホテル予約サイトからの予約も可能である。

【治安】

日本国外務省の「海外安全ホームページ」の中でパプア州（ブンチャック・ジャヤ県、ミミカ県のみ）と中部スラウェシ州ポソ県には危険度レベル2：「不要不急の渡航は止めてください」が発出されており、2022年12月5日時点で有効となっている。

パプア州と西パプア州では分離独立を求める声があり、一部の地域では治安当局との衝突などが散発的に発生している。特にパプア州の当該地域周辺では、OPM（パプア分離独立運動グループ）と見られる武装集団が治安当局などを襲撃する事案が散発的に発生している。

中部スラウェシ州ポソ県は、1998年末に起こったイスラム教徒住民とキリスト教徒住民間の衝突以降の不安定な状況は沈静化した。同県郊外の山岳地帯にイスラム過激派が拠点を作り、治安部隊や地元住民を襲撃する事件が発生したため、治安当局による掃討作戦が実施されている。残党が潜伏している可能性があり、不要不急の渡航を止めるよう求められている。

【その他】

スラウェシ地域には北スラウェシ日本人会と南スラウェシ日本人会がある。

愛知県の医療法人「偕行会グループ」が2017年5月にマカッサルのインドネシア国立ハサヌデイン大学病院と覚書を交わしたほか、2019年6月にはコラカ県と「国際医療連携に関する覚書」を、同年10月には西スラウェシ州と「病院運営及び人材育成に関する覚書」を締結しており、医師・医療従事者の交流、透析医療での医療技術指導・共同研究、医療ツーリズムでの相互情報提供・患者受入について提携・協力を行っている。なお、同グループはジャカルタにクリニックを有し、南スラウェシ州内のパレパレ市では透析医療技術の提供を行っている（2017年5月27日付け偕行会グループのプレス・リリースより）。

2. 主要工業団地

スラウェシ島、マルク・パプアに立地する主要工業団地を以下の表にまとめた。

【スラウェシ】

| No. | 工業団地名 | Address (県/市) |
|-----|--|--|
| 1 | Kawasan Industri Makassar (Makassar Industrial Estate) | Jl. Perintis Kemerdekaan Km .15 Daya, Makassar |

(出所) 日本アセアンセンター